

平成24年1月10日

## お詫び

公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート  
理事長 松井 秀樹

当法人は「高齢者や障害者の方々が成年後見制度を利用して日常生活を安心安全に送ることができるように支援し、高齢者・障害者の権利の擁護及び福祉の増進に寄与する」ことを目的として設立された公益法人であり、当法人会員に対して後見実務にかかる研修会の開催や後見人に就任した会員の指導監督等を行ってまいりました。

しかしながら今般、当法人の会員が、成年後見制度利用者ご本人（被後見人）の財産から金員を私的に流用していた旨の報道がなされました。

当該会員の行為は、利用者ご本人の信頼を大きく裏切る行為であり、かつ成年後見制度に対する国民の信頼を揺るがす許し難い行為であります。利用者ご本人はもとより関係者の皆様ならびに成年後見制度に関わる皆様に多大なご迷惑をおかけいたしましたことに心よりお詫び申し上げます。

当法人は、成年後見制度に対する信頼をも失墜させかねない重大な事態であることを真摯に受け止め、今後このような事件が起こらぬよう、会員への研修を強化し、執務管理体制の更なる充実に向けて組織を挙げて取り組む決意であります。

今後とも当法人への変わらぬご理解を賜りますよう心よりお願い申し上げます。